

教科(科目)	地理歴史(歴史総合)	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	実教出版『歴史総合』				
副教材等					

1 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて想像したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを求める。</p>
--

2 指導の重点

<p>(1) 近現代の歴史について、世界と日本を相互的な視野から捉えて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけさせる。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目しながら多面的・多角的に考察し、また課題を把握、解決を視野に入れて想像する力を育て、またそれらをもとに説明し、議論する力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養い、また、自国や他地域の歴史、文化を客観的にとらえ尊重することの大切さを理解する。</p>

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代の歴史に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて想像したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとしている。</p>

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c

評価の観点	近現代の歴史に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて想像したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 作業活動での表現の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 などから、評価する。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 授業中の討論・発表への参加、取組の様子を観察し評価する。 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 ・ 学習活動の振り返りシートの記述などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の討論・発表への参加、取組の様子を観察 ・ レポートやワークシート、意見文、プリント・ノートなど提出物の内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析などから、評価します。

5 学習計画

学期	学習項目	時数	学習内容	評価の観点	評価方法	
前期	歴史の扉	2	高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につける。	c	出席	
	第1編 近代化と私たち					
	第1章 近代化への問い	1	17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解する。	c	学習への積極的な参加の様子	
	①17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出					
	1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動	1	17世紀から18世紀、19世紀にかけて日本の4つの口を通しての周辺地域との関係に着目し、主題を設定し、周辺地域の動向を比較し、相互に関連付けたりして、18世紀前後の日本の経済活動の特徴や、清などアジア諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現する。	b・c	(行動確認)	
	2. 江戸時代の生産・流通と諸改革	1				
	②近世の琉球と蝦夷地					
	3. 幕政の改革と東アジア世界	1				
	アクティブ①鎖国は日本だけのもの？	1				
	第2章 ③ヨーロッパの主権国家体制の成立	1				
	4. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争	1				
	5. フランス革命とウィーン体制	1				
	資料の読み解き①ナポレオンはどら描かれたのか	1				
	6. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立	1	18世紀前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国の産業と流通、アヘン戦争やペリー来航などアジアと欧米諸国の関係などを基に、当時の世界の政治、社会を理解する。	b・c	発表の様子	
	④世界市場の形成	1				
	7. オスマン帝国の衰退とロシア	1	18世紀前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国の政治、その影響に着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較し、アジアとの関係を相互に関連付け、当時の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府崩壊の関係を多面的・多角的に考察し、表現する。	b・c	(行動確認)	
	⑤イスラム世界の拡大	1				
	8. アヘン戦争の衝撃と日本の開国	1				
	9. 江戸幕府の滅亡	1				
	アクティブ②19世紀の日本の外交交渉	1				
	前期中間考査	1				
	第3章 10. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一	1	19世紀後半のヨーロッパの動向と日本の明治政府の政策、欧米諸国との外交関係を基に、当時のヨーロッパと日本との経済、社会の関係をみる。	a・b	発言の様子	
	11. 明治政府の諸改革 ⑥文明開化	1	19世紀後半の欧米諸国の動向が日本に与えた影響に着目し、主題を設定し、日本とその他の地域の動向を比較し、相互に関連付け、当時の日本の経済活動の特徴、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	c	(行動・内容確認)	
12. 日本のアジア外交と国境問題	1					
13. 自由民権運動と大日本帝国憲法	1					
アクティブ③北極圏日本人探検隊の目的と歴史	1					
第4章 ⑦近代化する日本をおとす外国人	1	19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などをとらえて、当時のアジアの政治と社会を理解する。	b・c	ワークシートやノートの作成・提出		
14. 帝国主義の時代へ	1					
15. 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争	1					
16. 日清戦争後の東アジア	1					
17. 日露戦争と東アジアの変動	1	19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパやアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目し、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較し、相互に関連付け、当時のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	b・c	ワークシートやノートの作成・提出		
18. 日本の産業革命 ⑧産業革命の光と影	1					
アクティブ④日清戦争・日露戦争とナショナリズム	1					
近代化と現代の諸課題	1					
第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち						
国際秩序の変化や大衆化への問い	1					
第5章19. 第一次世界大戦	1	第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立をとらえて、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。				
20. ロシア革命とソ連の成立	1					
21. 米騒動と大正デモクラシー	1	大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達をもとに、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。				
22. ヴェルサイユ体制とワシントン体制	1					
前期期末考査	1					
後期	23. アジアの民族運動	1	第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本参戦の背景と影響に着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、関連付け、大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係、国際協調体制を多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦前後の社会変化に着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、関連付け、第一次世界大戦後の社会変動と社会運動との関連を多面的・多角的に考察し、表現する。			
	アクティブ⑤民族資本の形成と影響	1				
	24. 第一次世界大戦後の欧米諸国	1				
	25. ひろがる社会運動と普通選挙の実現	1				
	⑨1920年代に花ひらいた大衆の文化	1				
	⑩移動する人々	1				

第6章26. 世界恐慌と各国の対応	1	世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などから国際協調体制の動揺を理解する。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などから、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、各国の世界恐慌へ対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察、表現する。第二次世界大戦の推移と世界に与えた影響、大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響に着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察、表現する。	b・c	課題、ノートなど積極的な作業・提出 (記述・内容点検) (行動確認)			
27. ファシズムの時代 資料の読み解き②若者よなゼヒトラーに協力したのか	1						
28. 満州事変と軍部の対立	1						
29. 日中戦争と戦時体制 アクティブ⑦戦争と文化	1						
30. 第二次世界大戦の勃発	1						
31. 第二次世界大戦の終結 ⑩沖縄と戦争	1						
32. 国際連合の成立と冷戦	1						
33. 日本占領と日本国憲法 ⑩日本国憲法の誕生	1						
34. 朝鮮戦争と日本 アクティブ⑧満州移民・引揚・戦後開拓 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	1						
後期中間考査	1						
第3編 グローバル化と私たち					脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治動向、軍備拡張や核兵器の管理などから、国際政治の変容を理解する。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長から、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会状況を理解する。 地域紛争の背景、影響、また冷戦が各国の政治に及ぼした影響に着目して、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因など、多面的・多角的に考察し、表現する。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 石油危機、アジア諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 アジア諸地域の経済発展の背景、経済自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響に着目し、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、市場経済のグローバル化の特徴、日本の役割を多面的・多角的に考察し、表現する。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響に着目して、主題を設定し、日本と他国、地域の動向を比較し、相互に関連付け、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割を多面的・多角的に考察し、表現する。	a・b	定期考査 (記述・内容点検)
グローバル化への問い 第7章35. 植民地の独立 ⑩核実験と核競争 36. 米ソ両陣営の動揺 ⑬高度経済成長 37. 日本の国際社会復帰と高度経済成長 アクティブ⑨沖縄からみたベトナム戦争	1 1 1 1 1						
第8章38. 石油危機と世界経済 ⑭パレスティナ問題の変遷 39. 緊張緩和から冷戦の終息へ 40. 日本の経済大国化	1 1 1 1						
アクティブ⑩多国籍企業について考える —私たちの身近にある「グローバル」—	1						
第9章 41. 地域紛争と対立 42. 国際秩序の変容 ⑮グローバル化のなかの日本	1 1 1						
アクティブ⑩持続可能な社会をめざして—私たちが考えるべきことは何か—	1						
現代的な諸課題の形成と展望 後期末考査	1 1						
		歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。 グローバル化の進む現代世界で起きている歴史的事象の背景や原因、結果や影響に着目し、日本と他国、地域の動向を比較し相互に関連付け、現代的な諸課題を展望し、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。					

計70時間(50分授業)

6 課題・提出物等

- ・ 授業内や家庭学習での課題の作業やワークプリント、ほかにノートなどの提出があります。
- ・ 作業や単元の終わりに振り返りシートを記入し提出することがあります。
- ・ 長期休業中の課題を別途指示することがあります。

7 担当者からの一言

歴史総合は近現代史を中心に、世界と日本のつながりを学習していきます。現代の世界がどのようにして形成されてきたのかを、今までの世界と日本の歴史の中で起こった出来事に関連付けながら学び、現在も変化を続ける私たちの社会の様々な課題を考えていきましょう。

「歴史総合」は必修科目です。履修完了しないと卒業は認められず、また選択科目「日本史探究」、「世界史探究」は履修できません。

